

報告書

福井高雄

第 6 2 回 東京都公民館 研究大会

日 時：2026 年（令和 8）2 月 7 日（土）14:00~17:30

会 場：J：COM コール田無 多目的ホール、総参加者：約 180 名

参加市：小金井、国分寺・国立・小平・西東京・昭島・東大和・福生・狛江＝9 市

小金井市参加者：福井（公運審委員）、公民館企画実行委員・職員＝数名

司 会：近藤（国分寺市本多公民館館長）

来賓挨拶：西東京市長 池澤隆史（公民館活動で、人と人とのつながりのコミュニティの場）〃：西東京市教育長 後藤彰（西東京市公民館 6 館は、地域ごとの特性を活かして活動）〃：文科省学習推進課職員 斎藤陽介（公民館は、地域の学びの変化に対応しての活動）

（国立市公民館は、全国の優良公民館として表彰）

1、【基調講演】テーマ『個人の成熟と社会の形成の関係性からみる地域論』

講師：泉谷閑示（精神科医、音楽家、思想家）

- ・西東京市公民館にて、3 年間『ライフデザイン講座』（精神療法）の講師を担当する。
- ・“個人と社会”の関係性は、自己内対話（頭と心）をとうして生きる意味を考える。

2、【補足講演】テーマ『公民館はだれのもの』 講師：長澤成次（千葉大学名誉教授）

- ・公民館は、公民教育から社会教育となり、個人を尊重する新しい文化を目指す教育を推進。
- ・公民館の学びは、新たな社会教育につながり、学習活動を“生活記録”（自分史）とする。

3、【シンポジウム+ディスカッション】

テーマ『個人的なことが社会的なことに』

～ “個人から団体、地域、社会へと広がってゆく起点を担う公民館について考える～
〔シンポジスト〕

佐藤将之（早稲田大学 人間科学学術院教授）

- ・人口増減の現状を、いかに公共施設を活用していくか。（複合施設・児童館にカフェを）
- ・気楽に話せる場が、居合わせの園になる。⇒ 困りごとの相談、展示・演奏会の場に。

田中雅文（日本女子大学 人間社会学部名誉教授）

- ・公民館は、学びと活動の循環にて、地域づくりに貢献する。
- ・成人の学習方法は個人化。（①インターネット、②書籍、③公民館講座）☞（内閣府調査）

坪内夏子（早稲田大学 教育・総合科学学術院教授）（西東京市公運審委員）

- ・市民の学びが公民館を支え、学ぶことで市民が元気になる。『公民館だより』を全世帯配付。
- ・西東京市の市民団体が、「公民館サポーターズ」として公民館を支援。

閉会の辞：西東京市柳沢公民館 事業係長 市川孝輔

以上